

M;REPORT 6

—レポート—
男女共同参画社会をめざす 2006.3.7 NO. 6



男女共同参画社会をめざす

ゆうレポート 6

平成18年3月7日発行
刊行物登録番号17111107

発行/東京都北区子ども家庭部男女共同参画推進課

〒114-8508 北区王子本町1-15-22
TEL:03(3908)9307 FAX:03(3908)6606

特集

時代を映す年中行事 —その由来をたどって—

情報

コーナー

『どくふれん 独身婦人連盟
—元祖「シングル」を生きた女たち』[367.2]
古庄弘枝著/ジュリアン/2005

第二次世界大戦終戦当時、男性より約255万人多かった適齢期の女性たち。独身で生きることを余儀なくされた女性たちは、「独身婦人連盟」を結成し、「創縁」、「支縁」によって女性がひとりでも生きられる文化をつくってきました。どくふれんの35年間の軌跡とメンバーのドキュメントが、さまざまな理由でシングルライフを送る多くの人たちを励ましてくれる一冊です。



【世界の女性事情】

労働、出産、教育など、世界の女性たちの姿から男女共同参画について考えてみませんか。

『世界の女性労働』[366]
柴山恵美子・他編著/ミネルヴァ書房/2005

『現代中国のジェンダー』[367.2]
蘇林著/明石書店/2005

『ユーゴ内戦後の女たち
—その闘いと学び—』[367.2]
ドラガナ・ポボヴィッチ・他著/柘植書房新社/2005

『パリの女は産んでいる
—<恋愛大国フランス>に子供が増えた理由』[367.2]
中島さおり著/ポプラ社/2005

『世界人口白書 2005』[334]★
日本語版制作:家族計画国際協力財団(ジョイセフ)/2005



新着図書のご紹介

■『「女人禁制」Q&A』[160]
源淳子編著/解放出版社/2005

■『冬の蕾—ベアテ・シロタと女性の権利』[323]
樹村みのり著/労働大学出版センター/2005

■『「見た目」依存の時代』[361]
石井政之・他著/原書房/2005

■『現代女性の労働・結婚・子育て』[366]
橋木俊昭編著/ミネルヴァ書房/2005

■『女職人になる』[366]
鈴木裕子著/アスペクト/2005

■『近代日本の「手芸」とジェンダー』[367.1]
山崎明子著/世織書房/2005

■『自治体と男女共同参画』[367.1]
辻村みよ子著/イマジン出版/2005

■『子の世話にならずに死にたい』[367.3]
井上治代著/講談社/2005

■『離婚後の親子たち』[367.4]
氷室かなな著/太田次郎社エディタス/2005

■『男性の「生き方」再考』[367.5]
中村彰著/世界思想社/2005

■『Q&A DVってなに?』[368]
番敦子・他著/明石書店/2005

■『きょうも料理』[383]
山尾美香著/原書房/2004

■『知っていますか? AIDSと人権
—問一答 第3版』[493]
屋鋪恭一・他著/解放出版社/2005

■『ブレ更年期から始めよう』[495]
対馬ルリ子著/かもがわ出版/2005

■『35才からの妊娠・出産・育児』[495]
たまごクラブ編/ベネッセコーポレーション/2005

■『環境ビジネスウィメン』[519]
環境ビジネスウィメン懇談会編著/日経BP社/2005

■『ジェンダーのアート散歩』[704]
いさじ章子著/ひろしま女性学研究所/2005

■『芸能・音楽における女性の活躍』[762]
齋藤和枝著/松香堂書店/2005

■『シュレーディングの猫』[914オ]
小倉千加子著/いそづつ社/2005

■『カミングアウト』[916オ]

G A L L E R Y

作/佐藤 映 作品名「不死鳥のように」

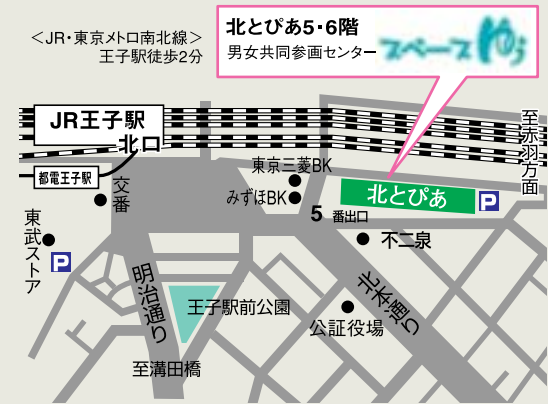


表紙の絵画は、佐藤 映さんという方の作品です。彼は一昨年の11月25日に、46歳でこの世を去りました。彼は脳性マヒによる肢体不自由の重度障がい者でした。私は彼の日常の介護をしていた者です。今回表紙を飾った「不死鳥のように」は彼の作品中、後期に描かれたものです。作品を一瞥してお分かりのように、空に突如表れた雄大な雲に、自分の思い(想い)を仮託して描ききった作品です。彼の眼前に、何故この雲が現れたのか?彼にはこの雲が何故、不死鳥に見えたのか?いや、

不死鳥として見たかったのか?彼の絵は迫力のある構図が特徴的です。それは自分の存在の証を残そうと、社会の中で努力をしても叶えられなかった思いを、絵画に自分の想いとして描き付けたからです。そして彼は、表現活動によって得たものを胸に、社会に向けて不死鳥のように再度立ち上がり、活動を始めた矢先に亡くなりました。だからきっと、彼の思いは不死鳥として天空を飛んでいる筈です。その羽音が聞こえる様です。 自立生活センター・北/堀内 真悟

編集後記

季節を彩る年中行事。その中にはおひなさま、鯉のぼり、七五三のように男の子、女の子に分けられているものがあります。私たちは、おひなさまや鯉のぼりなどの行事の由来を調べ、そこに込められた願いは一体どういうものだったのだろうかを調べてみました。調べてびっくり。へーの連続でした。日本古来と云っても中国やインドの影響や故事に由来するものもあり、あるいは商売と結びついたり、とても奥が深く、到底この限られた紙面で全体を報告できません。そこで、出典を限り、共通に説明されているものを選び、紙面に載せることにしました。時代と共に行事の内容も意味も変わってきています。その中で私たちは、子どもの健康と成長、幸せを願う人々の思いはかわらず生き残っていることを知ることができました。もちろん、その幸せの意味もまた時代によって変遷していることも。



編集・企画/北区男女共同参画センター「ゆうレポート」編集グループ
E-mail: danjo-ka@city.kita.lg.jp

印刷/東京書籍印刷株式会社 Printed in Japan



古紙配合率100%再生紙を使用しています